



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東
 コード番号 2907 URL <http://www.ahjikan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 足利 恵一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,263	4.7	941	△35.6	1,009	△39.2	641	△38.5
29年3月期第3四半期	30,808	2.9	1,462	260.7	1,661	246.2	1,042	246.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 800百万円 (△6.7%) 29年3月期第3四半期 857百万円 (118.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	84.23	—
29年3月期第3四半期	136.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	25,970	11,740	45.2	1,542.61
29年3月期	19,976	11,077	55.5	1,455.44

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,740百万円 29年3月期 11,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				12.00	12.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 29年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 特別配当 6円00銭

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	5.0	1,150	△29.4	1,200	△32.6	650	△41.0	85.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	7,700,000株	29年3月期	7,700,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	89,005株	29年3月期	89,005株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	7,610,995株	29年3月期3Q	7,611,039株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益および雇用・所得環境に緩やかな回復基調が継続して見られたものの、米国の金融政策の影響や、北朝鮮を始めとした地政学的リスクなどにより、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、輸入品や原材料価格は安定して推移したものの、個人消費は緩やかな回復にとどまっており、一定の厳しさを残した経営環境で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、『経営基盤の拡大』と『新事業の成長』をテーマとした第10次中期経営計画の最終年度をスタートさせ、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発、およびマーケティング力の強化」、第三に「利益構造の改革」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,263百万円（前年同四半期比4.7%増加）となり、前年同四半期実績を大幅に上回ることができました。一方、利益面につきましては、売上高の拡大や売上原価抑制などの増益要因はありましたが、つくば工場（平成29年11月28日竣工）の稼働に伴う諸経費や、ごぼう茶の新ブランド発売に伴う経費などの計上により、営業利益は941百万円（前年同四半期比35.6%減少）となりました。経常利益は、円高進行に伴うデリバティブの時価評価益の減少などにより、1,009百万円（前年同四半期比39.2%減少）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は641百万円（前年同四半期比38.5%減少）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」を参照ください。

①業務用食品等

販売面におきましては、「ちらし寿司の日」や「季節ごとの恵方」、「クリスマス」、「年末年始」など各種イベントに合わせた販売促進活動や、主要都市での展示会開催、新製品およびリニューアル品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みに加え、北海道、沖縄、甲信越、北陸、千葉など新規エリアにおける拡販体制をさらに強化してまいりました。これらの結果、玉子焼類は競争激化によりほぼ前年同四半期並みとなりましたが、蒲鉾類や野菜加工品などの自社製品に加え、調理済冷凍食品を始めとした自社企画ブランド品、水産物を中心とした仕入商品などの売上が拡大いたしました。

生産面におきましては、省エネ活動や、生産技術の向上による歩留まりの改善などが図れたものの、ユーティリティ費用の上昇や、つくば工場稼働に伴う諸経費の発生などにより、製造原価率は若干上昇いたしました。

以上の結果、外部顧客への売上高は、30,018百万円（前年同四半期比1.9%増加）、セグメント利益（営業利益）は、2,127百万円（前年同四半期比13.2%減少）となりました。

なお、平成29年9月をもって味堪（広州）餐飲管理有限公司の飲食店「巻楽」（広東省広州市）を閉店しております。

②ヘルスフード

テレビCMや、紙媒体、電子媒体などでの販促・広告活動を積極的に行った結果、通信販売を中心とした定期顧客が大幅に増加いたしました。また、ドラッグストアなどでの市販品の売上也、新規開拓やインスタプロモーションの強化により、前年同四半期実績を大幅に上回る結果となりました。

なお、「あじかん焙煎ごぼう茶」の新作として、焙煎とブレンド技術を駆使して平成29年10月1日より販売を開始した「国産焙煎ごぼう茶プレミアムブレンド ごぼうのおかげ」は、発売以降順調に推移しており、生産面におきましても高い生産稼働率を維持することができました。

以上の結果、外部顧客への売上高は、2,245百万円（前年同四半期比66.5%増加）と大きく伸張いたしました。ごぼう茶の新ブランド発売に伴う経費などの計上により、セグメント利益（営業利益）は、311百万円（前年同四半期比21.3%増加）にとどまりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5,993百万円増加し、25,970百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,017百万円増加し、13,026百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金の増加2,644百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加449百万円、その他に含まれる未収入金の増加231百万円、原材料の備蓄による原材料及び貯蔵品の増加182百万円、現金及び預金の減少499百万円などがあります。なお、受取手形及び売掛金の増加は、繁忙期に伴う売上高増加に加え、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことから、一部の債権の回収が翌連結会計期間にずれ込んだためであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2,976百万円増加し、12,943百万円となりました。これは、減価償却の進行に伴う減少要因はありましたが、つくば工場の建設によって有形固定資産が大幅に増加したことに加え、増産を目的とした既存工場の設備投資などにより、機械装置及び運搬具(純額)が増加したためであります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ5,330百万円増加し、14,229百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,513百万円増加し、11,463百万円となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金の増加1,367百万円、つくば工場建設などに伴うその他に含まれる設備支払手形の増加970百万円、その他に含まれる未払金の増加883百万円、未払法人税等の減少424百万円などです。なお、支払手形及び買掛金の増加は、繁忙期に伴う仕入高増加に加え、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことから、一部の支払手形の決済が翌連結会計期間にずれ込んだためであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1,817百万円増加し、2,765百万円となりました。主な増加要因は、つくば工場建設に伴う長期借入金の増加1,774百万円、繰延税金負債の増加93百万円などです。なお、平成29年6月29日開催の当社株主総会の終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止したことにより、前連結会計年度まで計上しておりました役員退職慰労引当金は、第1四半期連結会計期間より長期未払金として計上しております。

また、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ2,732百万円増加し、5,663百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ663百万円増加し、11,740百万円となりました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上641百万円に加え、その他有価証券評価差額金の増加143百万円、剰余金の配当による減少136百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ10.3ポイント減少し、45.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間までの業績は、売上高が順調に推移していることに加え、原材料や輸入品の仕入価格が安定しており、営業利益段階では当初予想を若干上回る状況となっておりますが、原材料価格や為替の変動など業績に与える流動的な要素も多いため、現時点において、平成29年11月1日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627,786	1,128,770
受取手形及び売掛金	4,902,736	7,546,872
商品及び製品	2,129,425	2,578,575
仕掛品	6,479	6,596
原材料及び貯蔵品	940,652	1,123,649
繰延税金資産	128,373	84,721
その他	285,716	579,080
貸倒引当金	△11,746	△21,698
流動資産合計	10,009,424	13,026,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,883,098	4,150,820
機械装置及び運搬具(純額)	1,471,201	2,709,912
土地	3,371,100	3,362,489
リース資産(純額)	64,077	99,393
その他(純額)	1,296,858	517,771
有形固定資産合計	8,086,337	10,840,387
無形固定資産		
ソフトウェア	42,917	33,916
リース資産	24,184	14,653
その他	30,338	29,780
無形固定資産合計	97,440	78,350
投資その他の資産		
投資有価証券	934,615	1,143,240
長期前払費用	3,124	3,005
その他	884,351	916,017
貸倒引当金	△38,678	△37,265
投資その他の資産合計	1,783,412	2,024,997
固定資産合計	9,967,190	12,943,735
資産合計	19,976,615	25,970,302

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,791,778	4,159,338
短期借入金	2,489,000	3,446,856
リース債務	50,011	49,995
未払法人税等	478,406	54,242
賞与引当金	284,000	195,000
役員賞与引当金	35,636	35,872
その他	1,821,873	3,522,654
流動負債合計	7,950,706	11,463,959
固定負債		
長期借入金	442,000	2,216,430
長期未払金	—	215,009
リース債務	63,701	88,237
役員退職慰労引当金	253,219	—
退職給付に係る負債	113,781	76,686
資産除去債務	52,955	53,148
繰延税金負債	21,366	114,516
その他	1,500	1,500
固定負債合計	948,524	2,765,528
負債合計	8,899,231	14,229,487
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	8,451,254	8,955,362
自己株式	△64,361	△64,361
株主資本合計	10,588,133	11,092,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,336	441,616
繰延ヘッジ損益	10,063	—
為替換算調整勘定	222,190	227,626
退職給付に係る調整累計額	△41,339	△20,669
その他の包括利益累計額合計	489,251	648,573
純資産合計	11,077,384	11,740,814
負債純資産合計	19,976,615	25,970,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	30,808,896	32,263,929
売上原価	22,517,681	23,658,137
売上総利益	8,291,215	8,605,792
販売費及び一般管理費	6,828,950	7,664,144
営業利益	1,462,264	941,648
営業外収益		
受取利息	2,044	1,813
受取配当金	19,661	19,288
持分法による投資利益	14,265	22,475
長期為替予約評価益	226,874	19,974
為替差益	—	28,410
その他	35,688	17,551
営業外収益合計	298,535	109,513
営業外費用		
支払利息	17,236	16,024
為替差損	59,220	—
その他	23,220	25,904
営業外費用合計	99,676	41,929
経常利益	1,661,123	1,009,232
特別利益		
固定資産売却益	—	1,996
投資有価証券売却益	—	751
特別利益合計	—	2,747
特別損失		
固定資産除却損	7,339	11,867
役員退職慰労金	138,816	—
特別損失合計	146,155	11,867
税金等調整前四半期純利益	1,514,968	1,000,112
法人税、住民税及び事業税	435,122	288,766
法人税等調整額	37,197	70,239
法人税等合計	472,319	359,006
四半期純利益	1,042,648	641,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,042,648	641,106

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,042,648	641,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,690	143,279
繰延ヘッジ損益	33,928	△10,063
為替換算調整勘定	△225,578	5,107
退職給付に係る調整額	20,669	20,669
持分法適用会社に対する持分相当額	△69,614	328
その他の包括利益合計	△184,903	159,321
四半期包括利益	857,744	800,428
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	857,744	800,428
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成29年6月29日開催の第53期定時株主総会において、役員退職慰労金制度廃止に伴う打切支給を決議いたしました。

これに伴い、役員退職慰労引当金を全額取り崩し、打切支給額の未払分215,009千円を固定負債の長期未払金に計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務用食品等	ヘルスフード			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	29,460,560	1,348,335	30,808,896	—	30,808,896
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	14,681	14,681	△14,681	—
計	29,460,560	1,363,017	30,823,577	△14,681	30,808,896
セグメント利益	2,450,613	256,675	2,707,289	△1,245,024	1,462,264

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,245,024千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,222,360千円及びたな卸資産の調整額△22,843千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務用食品等	ヘルスフード			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	30,018,699	2,245,230	32,263,929	—	32,263,929
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	42,041	24,839	66,880	△66,880	—
計	30,060,740	2,270,069	32,330,810	△66,880	32,263,929
セグメント利益	2,127,303	311,285	2,438,589	△1,496,940	941,648

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,496,940千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,498,586千円及びたな卸資産の調整額1,477千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行ったことに伴い、報告セグメントを従来の「営業部門」及び「生産部門」から「業務用食品等」及び「ヘルスフード」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。